

国連開発計画(UNDP)とユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)とは

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(Universal Health Coverage: UHC)とは、世界中のすべての人々が、必要な保健医療サービスを、負担可能な費用で受けられることです。これには、健康増進、疾病予防、治療や回復に必要な保健医療サービスが含まれます。UHCの実現には、法律、政策、ガバナンス等への取組みも求められます。

ポスト 2015 開発アジェンダとユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)

ポスト 2015 開発アジェンダで保健分野に取り組むことは、保健以外の開発目標を達成するうえでも非常に重要です。ポスト 2015 開発アジェンダ策定に向けた議論でも、人々が健康な生活を送るために保健が果たす役割の重要性が確認され、同アジェンダに、平均寿命や若年死亡率を指標として取り入れることが提案されています。

UNDP とユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)

国連開発計画(UNDP)は、HIV 対策や保健に関するこれまでの取組みで培った知見を活かし、ガバナンス、貧困削減、能力強化、ジェンダー等の各分野の活動を通じて、これらに効果的に取り組むことができます。UNDP は、パートナーとの協働により、保健格差の是正と健康増進に役立つ保健システムの整備を支援することが可能です。

具体的には、UNDP は以下の 3 分野で UHC の推進に貢献することができます。

1. 人権・開発問題としての UHC への取組み

UNDP は、保健関連のミレニアム開発目標(MDGs)やジェンダー平等を各国の国家開発計画において主流化させるための支援を数多く実施しています。例えば、UNDP は、世界銀行および国連合同エイズ計画(UNAIDS)との共同プログラムにより、各国の開発プロセスにおける HIV 対策の主流化を支援しています。また、インドにて UNDP が 2006 年に実施した調査では、HIV 感染者のいる家庭は職を失い、治療費や薬代を支払うために負債を抱え、子どもが学校から中退する事例が散見されました。これに対し、UNDP は感染者ネットワークを支援すると同時に、中央・州政府の社会保障対象者の拡大を支援しました。

2. 保健のための多角的アプローチによる支援

UNDP は、幅広い開発課題に取り組む組織ならではの強みを活かし、様々な分野における活動を通じて保健に貢献することが可能です。例えば、ナミビアでは、UNDP は環境分野の事業で HIV 対策を取り入れる支援を行いました。インドでは、UNDP は国家エイズ管理機構とともに、保健以外のセクターでも HIV 対策が提供されるよう支援しました。この結果、例えば運輸省は港湾労働者と周辺コミュニティに対し、HIV エイズ予防推進活動と医療サービスを提供するようになりました。

また UNDP は、貧困層の健康改善と保健医療サービス利用率向上のための環境整備にも取り組んでいます。例えば、太平洋地域では、世界保健機関(WHO)等と協力し、貿易・食生活・慢性疾患の関係性に着目し、貿易省・保健省・財務省と共に「健康に配慮した貿易」政策の立案を支援しました。

3. UHC のガバナンス、制度設計および資金基盤の強化

UNDP は WHO 等の保健専門組織と共に、UHC のガバナンス、計画策定と制度設計に取り組むことが可能です。これには、UNDP の強みを生かしたガバナンスや人権分野における取組みが含まれます。UHC を含む保健政策に弱い立場の人々の声を反映させる取組みにあたっては、「感染者の HIV/エイズ対策への積極関与」を基本理念としています。

また UNDP は、地方分権化などの、保健システムの財源とサービスに影響を及ぼすようなガバナンス改革の機会をとらえ、UHC のための持続可能な資金調達に取り組むことができます。さらに、UNDP は保健分野のための革新的な資金調達メカニズムを構築することも支援しています。例えばウガンダでは、UNDP が国連人口基金(UNFPA)、保健省および財務省と共に母子保健分野での MDGs への取組みを進める中で、「MDG 加速基金」が創設されました。同基金を活用することにより、保健以外の分野でも、乳幼児死亡率の削減や妊産婦の健康改善に寄与する活動を支援できるようになりました。

(2013 年 9 月 UNDP 開発政策局作成 Issue Brief の抄訳)